

市民のみなさまへ

消防団活動について

皆さまの**ご理解・ご協力**をお願いします！



消防団は、普段は様々な仕事をしている住民の有志が、火災や災害が発生したら消防団員として消防活動を行います。

本来の仕事や学業・家事などをしながら、消防団員として活動しています。

～平常時の活動～

毎月の車両点検及び町内巡視、消火技術向上を目的とする操法訓練、大規模災害に備えた津波対応訓練など各種訓練を実施しています。また、様々な啓発活動も積極的に実施しています。

～災害時の活動～

- 火災が発生した際、自宅や職場から現場に駆け付けて消火活動を行います。
- 火災や災害発生時、現場付近の2次災害（飛火・延焼拡大）発生防止のため警戒活動を実施します。
- 台風など大雨や暴風の際、住民への広報活動、警戒活動、さらには土のうなどを作る水防活動を行います。

過去の災害における教訓

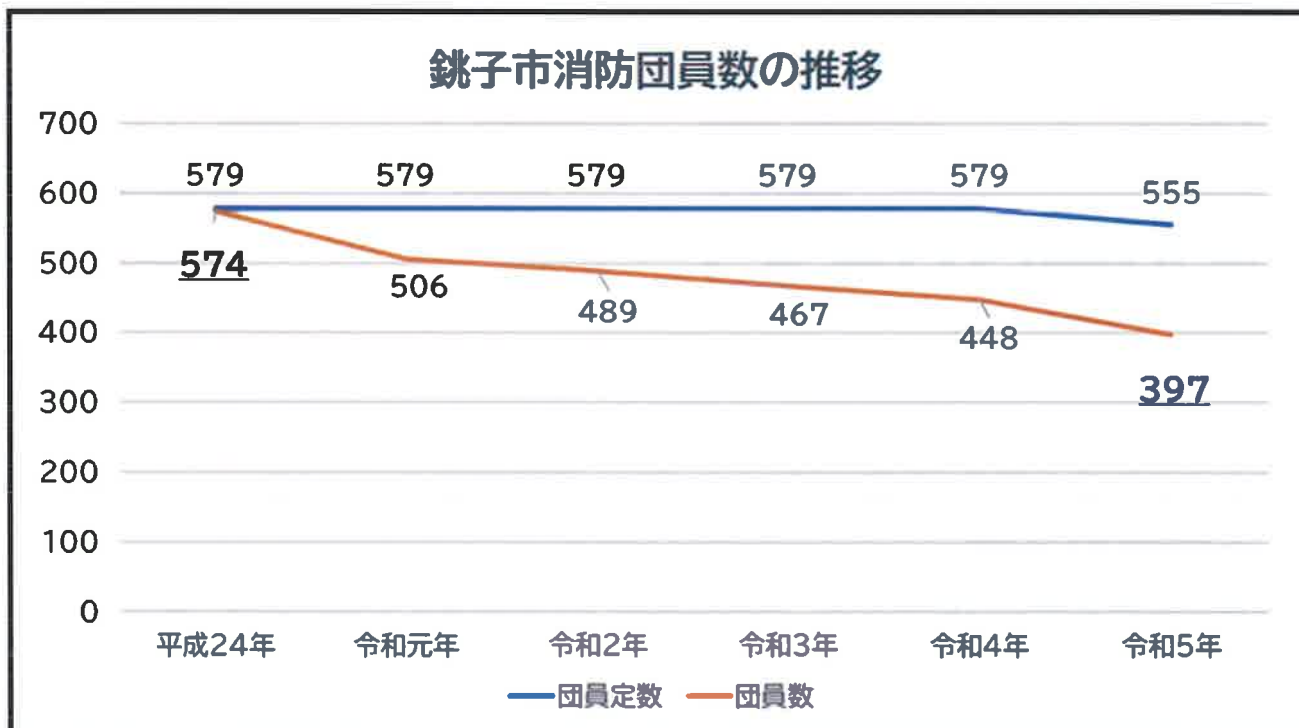
阪神淡路大震災では、初期段階において常備消防（消防署）の限られた車両・人員では手が回らず、地域の消防団や近隣住民により救出が行われました。

救出者全体の8割を超える方が消防団等により救助が行われ、大規模災害になればなるほど行政による対応には限界があり、できる限り現場に近い消防団の力が、今こそ必要です。



～いまこそ、ご理解・ご協力を～

消防団員数の減少が危機的な状況になっています！



消防団員数は、社会環境の変化（少子高齢化による若年層の減少、就業構造の変化、地域社会への帰属意識の希薄化等）から全国的にも減少が続いています。

銚子市の消防団員数も減少傾向にあり、地域における防災力の低下が懸念されています。

～地域に根ざした活動～

地元であるからこそ、銚子で仕事しているからこそ、わかることがあります。混乱した災害現場では、その貴重な情報が生かされます。消防団員は、地域の住民等で組織され、地域に密着した活動を行っています。



問合わせ先

銚子市消防本部 消防総務課警防班

電話：0479-22-3296

Mail：cfd-keibou2@city.choshi.lg.jp